

「楽しい遠足をつくろう！」 たかが遠足されど遠足 遠足で子どもは成長します

「あした天気になぁーれ！」「てるてる坊主さんお願い！」「ワクワクして寝れないよ」

1. 遠足は、子どもの一番の楽しみ① ～絶対になくしてはいけない行事～

- ・ 行事の精選、授業時間の確保、学力低下→→だから遠足の回数を減らす、簡単な遠足にする、遠足に時間をかけない→→そんなアホな とんでもないことや 夢を奪うな
- ・ リュック・水筒・おやつ・弁当は遠足のシンボル。あの時の感動は一生忘れない

2. 遠足は、子どもの一番の楽しみ② ～おやつ制限～

- ・ おやつは消費税込で200円、この制限がうれしい。子どもの自主性を育てるために 自由に関わせるとする方法もあるが、それはもっと後でいい。制限が楽しいのだ。
「1円でもオーバーしたら全部もらうぞ」「バナナ1本の計算は？」「あの店より安い」

3. 遠足は、子どもの一番の楽しみ③ ～行き先、行く方法、何をするか～

- ・ どこに行くか？ 例年通りではおもしろくない。違う学校の情報も集める。自分だったらどこに行きたいか。それでも同じ所になった時は、去年と違う活動をする→「おまえらエエなぁ」と兄に言わせたい。行く前からワクワクドキドキ、そんな内容を

4. 遠足は、子どもの一番の楽しみ④ ～しおりの工夫によって楽しみが倍増する～

- ・ 「遠足のしおり」を見て子どもはワクワクする。そんなしおりをつくりたい。
- ・ こんな「しおり」なら、子どもは大事にするし、よく読む。そして次も楽しみになる。
→別紙見本「模擬しおり」

5. 遠足は、子どもを育てる絶好の機会① ～安全第一 下見はきっちりと～

- ・ 下見は絶対にする。いい加減な下見は事故を招く。楽しい遠足にするために下見する。
歩く側はどちら？ 便所はどこ？ 便器の数は？ 弁当の場所はどこ？
遊ばせる範囲は？ 他の学校がどれくらい来る？ 時間の配分は？ 雨の時は？
あの子が歩けるか？ 車椅子の友だちをどうやって連れていくか？

6. 遠足は、子どもを育てる絶好の機会② ～引率の仕方で教師の姿が見える～

- ・ 引率の仕方で教師の姿勢があらわれる。並ばせ方、集合の仕方、電車の乗せ方、歩かせ方、公衆道徳→→集団行動・社会行動を教える場でもある→→安易に班で行かせるのはダメ→→本当の自由行動とは、そんなに簡単なものではない。

7. 遠足は、子どもを育てる絶好の機会③ ～弁当の食べさせ方～

- ・ 弁当の食べ方はとても重要。ここで学級づくり・仲間づくりをしていく→安易に好きな者同士で食べさせるのはダメ→自由と自分勝手の違い→→ 弁当の輪の感動

8. 遠足は、子どもを育てる絶好の機会③ ～仲間が育つ遊びや活動を～

- ・ せっかくの遠足なのだから、班で活動したり、全員遊びをしたり、みんなで探検に行ったりしたい。時間を決めて自由時間とみんなの時間と分けてもいいが、必ず仲間の時間をとりたい。

※番外・・・リコーダー→若草山のとっぺんからリコーダー演奏 ゴム草履→川遊び
絵本→木陰で読み聞かせ CD機器→歩きながら歌う♪ゆかいに歩けば♪海へ行こう
オリエンテーリング、ウォークラリー、サイクリング、いかだ下り、2階建バス

べんとうの輪……神戸メリケンパーク

★10月22日(水)学級会。議題が3本出されました。その中の1本にこんな提案が出されました。

「遠足の時に、お弁当をみんなが輪になって食べたらどうか」

そして全員賛成でそうすることになりました。

★10月24日(金) 晴れ、神戸港メリケンパーク午後12時20分。さぁお弁当の時間です。私は、みんながどんなふうにするのかをじっと見ていました。芝生の所になんとなくみんなが集まり始めました。「どうするの?」「このへんで食べようや」「男女男女で輪になろうよ」「名前の順で並ぼうよ」「班ごとに男女で並ぶ方がいいわ」「どうするの?」「はよせえや」「名前順で・・・」「班で・・・」「もうちょっと大きくなってすわろうよ」「そこ女子かたまっているやん」「女子が多いからしかたないやん」「早くしようよ」「いただきます、は誰が言うの?」「うん、これでいいやん」などなど・・・、いろいろごちゃごちゃしながらも12時27分、給食係の「手を合わせてください」の声で、**よい41仲間の弁当の輪**から元気な「いただきます〜す!」が聞こえました。「先生は真ん中やで」と言われ、ちょっぴりはずかしいなぁと思いながら、真ん中にすわり私も食べ始めました。いただきますまで7分かかりましたが、この7分はよい41仲間の成長のしるしの時間であり、よい41仲間の自慢できる時間であったと思います。もし自由に好きな者同士でかたまり食べていたら、この7分間はなかったわけで、もうお弁当も半分近く食べ終わっていたのかもしれませんが、でもこの7分のおかげで、みんなの輪ができたのですから、やっぱりこの7分はすばらしい時間だったのです。私は心がとってもあたたかくなり、気持ちよくお弁当を食べていました。それから・・・しばらくして、有村さんが言いました。

「みんなの声が聞こえて、ええなぁ」

すると続いて「みんなの顔も見えて、いいねえ」

「輪になると、こんないいことがあるねんなぁ」

という会話が聞こえてきました。

すごい発見です。すごい会話です。私はこの言葉に感動してしまいました。

★みんなが輪になって中を向いて食べると、みんなの話し声や顔が見えるのです。おにぎりをくわえている顔、お弁当を食べ終わり、おやつを出している姿、おもしろい話をしてケタケタ笑っている様子・・・そんなことが全部見えて、聞こえるのです。「あーおいしそうにたべているなぁ」「あっ、ちょっと暗い顔をしているぞ、どうしたのかなぁ」・・・なんて表情までわかるのです。

弁当の輪は、友達の輪になっていくんですね。

★1997年10月24日の遠足。港めぐりもポートタワーも海洋博物館も心に残ったけど、私の心には、このメリケンパークでの「お弁当の輪」のことが一番深く心に残りました。

★私はその日、家に帰るなり、すぐに奥さんにしゃべり出しました。

「今日、遠足でええこと、あってんで」「何があったの?」

「あんなぁ、弁当食べる時に・・・」とペラペラとうれしそうにしゃべってしまいました。

私が学級会の出来事からすべて話したあと、私の奥さんは、私に向かってこう言いました。

「お父さん、幸せやなぁ。そんないい子どもたちに囲まれて・・・。よかったねぇ〜」って。